

『しんぶん赤旗』

わが街

上越市は新潟県の西部に位置し、平成の大合併で全国最多の十四市町村が合併してできた、面積が東京都の半分もあるまちです。人口は二十万人弱です。そんな広い上越市の一部、高田地区について紹介します。

高田区の中心部には高田城址があります。400年ほど前に、平城として建てられ、江戸時代後半は榊原家が治めました。跡地が高

田公園として整備されています。春の桜は「日本三大夜桜」といわれ、約4000本の桜が夜の公園を彩り、全国からの観光客でにぎわいます。その桜が、秋には見事な紅葉を見せます。

今年リニューアルオープンした高田公園内の歴史博物館は、越後の都をテーマに、安土桃山時代以降の地域の歴史を解説する常設展示をしています。上越市役所のすぐ西にある春日山は、上杉謙信の居城でした。N

HKの大河ドラマなどで何度か取り上げられ、今でも多くのファンが訪れています。春日山の麓には、埋蔵文化財センターがあり、古代から近世にかけての歴史を知ることができます。

北陸新幹線の上越妙高駅建設の際に、駅目の前で縄文時代の釜蓋遺跡が発掘されました。市民・研究者・愛好家の手で残され、そこは釜蓋遺跡公園・釜蓋遺跡ガイダンスとして整備されています。上越妙高駅の南に

は、弥生時代の遺跡Ⅱ吹上遺跡があります。ここは遺跡の上に橋を架けて道路が通っています。

さらに駅の南西（妙高市）には古墳時代の観音平・天神堂古墳群があり、太古の時代から人々の営みがあったことが分かります。日本海のおいしい魚と越後杜氏の伝統を引く美酒を楽しみながら、歴史巡りはいかがでしょうか。

二〇一八年一月二六日

日本共産党上越地区委員会

元市議 杉本敏宏